

事務事業名	消防用機械器具整備事業	所属部	防災部	所属課	くらし安全室	
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち〈定住環境〉	所属G	くらし安全G	課長名	室長 加藤信也
	施策名	〈16〉消防・防災対策の推進	担当者名	加藤信也	電話番号	0854-40-1027 (内線) 2352
	目的: 対 象	市民	意 図	生命・財産を火災・災害から守る。	予算科目	会計: 款 大事業 大事業 0:1:4:5:0:3 業名 消防施設整備事業
	基本事業名	〈047〉防火施設と消防体制の充実	項目: 中事業 中事業	0:5:1:5:0:2 業名 消防機器整備事業		
目的: 対 象	市民	意 図	火災による被害にあわない。			

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H16 年度～)
	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容	(期間限定複数年度事業は全体像を記述) 消防ポンプ車、小型動力ポンプ付積載車等の導入(更新)を実施。 更新計画に基づき、導入後25年以上を経過した車両から更新を実施。年間3～4台程度。 車両・小型ポンプなどの修繕も行っている。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	R2年度実績(R2年度に行った主な活動) 小型ポンプ付軽積載車更新 3台 小型ポンプ等修繕 8件 消防車両修繕 2件	R3年度計画(R3年度に計画する主な活動) 小型ポンプ付軽積載車5台の更新を予定。また、必要に応じて修繕を行う。			
	② 活動指標	単位	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)
	ア 消防車等整備台数	台	4	3	3	5
	イ 施設改修件数	件	1	0	0	0
	ウ 車両修繕	件	2	6	2	2
	エ 小型ポンプ等修繕	件	5	9	8	5

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)	
	ポンプ車、小型動力ポンプ付積載車	ア	ポンプ車・小型ポンプ積載車の数	台	95	94	83	83
		イ						
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)		
火災時に円滑な消防活動ができる	ア	機械器具等の修繕件数	件	8	15	10	10	
	イ							
	ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(2年度決算)	② コストの推移	単位	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(計画)	
・小型動力ポンプ付軽積載車3台の更新 20,625千円(起債名:緊急防災) ・小型ポンプ、車両等の修繕 976千円 ・消防車両登録手数料等 141千円 ・備品購入(消防用ホース) 861千円 ・消耗品 130千円 計:22,733千円	事業費	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円	23,100	33,500	16,900	34,500
		その他	千円		78		
		一般財源	千円	7,764	6,011	5,833	2,751
		事業費計(A)	千円	30,864	39,589	22,733	37,251
		人件費	人	1	1	2	
		延べ業務時間	時間	520	500	300	
		人件費計(B)	千円	2,253	2,120	1,262	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	33,117	41,709	23,995	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
・社会情勢の変化により団員確保が困難になる中、消防団における組織再編検討に基づく団員定員の削減、組織体制を変更。これに伴い、消防車両12台の減車を実施。 ・普通運転免許で運転できる車両が3.5トン未満となる道路交通法の改正、AT限定免許取得者増などを考慮した対応が必要となっている。	・消防団組織再編に伴う消防車両の減車にあわせ、消防団車両等の更新計画を再整備(R2.10月策定)。導入後25年を目途に車両等の更新を図る方針。	・市議会から、普通積載車と軽積載車が混在する状況から、どちらかに統一すべきとの指摘がある。

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？	見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合 →		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない 理由 R3.4月から再編後の組織体制に移行するが、引き続き適正な車両、機械器具の配備を検討していく必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 理由 非常備消防の消防力を維持するため、市が計画的に車両・器具の整備・更新をしなければならない。
C 効率性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合 → (具体的な手段や類似事業名) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない 理由 非常備消防の消防力を維持するため、市が計画的に車両・器具の整備・更新をしなければならない。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由 消防力が低下しないよう、更新計画に基づき毎年度実施していく必要がある。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由 年次計画により行っているため、必要最小限である。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である 理由 消防車両の更新については、更新計画に基づき経過年数の多い車両から更新しており、車輛等の修繕についても必要性があるものを実施している。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果	② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	消防力を低下させないため、消防団車両等更新計画に基づき、消防車両等の更新を行っていくが、各分団・部の状況を踏まえつつ適正な車両及び器具の配備を検討していく。

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	② 改革・改善による期待成果																					
令和2年10月に改めて消防団車両等更新計画を策定しており、この計画に基づいて車両等の更新を行っていく方針であるが、必要に応じ適宜見直しを行っていく。 道路交通法の改正により、平成29年3月12日以降に取得した普通免許で運転できる車両が3.5トン未満となっていることから、これらに配慮した車両更新を検討する必要がある。 また、AT限定免許取得者の増加が見込まれることから、AT車の導入を進めていく。	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		●																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		
廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。																						